

# INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2017年11月1日



JAPAN WOOD DESIGN  
AWARD 2017

独自構法 FWS を採用した「赤羽の集合住宅」が

## ウッドデザイン賞を受賞

- 木質接着複合パネルの新構法「FWS」を採用し防火地域に建築した4階建て集合住宅
- 「ソーシャルデザイン部門」の「建築・空間分野」において受賞

ミサワホームグループの株式会社ミサワホーム総合研究所（東京都杉並区／代表取締役社長 内田和明）が開発を進める新構法「FWS（フューチャー・ウッド・システム）」を採用し、テクノエフアンドシー株式会社（東京都杉並区／代表取締役社長執行役員 道官陽一郎）が躯体の生産及び施工を手がけた「赤羽の集合住宅」が、林野庁補助事業であるウッドデザイン賞 2017（主催 ウッドデザイン賞運営事務局）を受賞\*しました。今後、同賞受賞作品の中から上位賞が選出され、11月20日（月）に発表される予定です。

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取り組みのうち特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する顕彰制度です。応募対象は建築・空間、木製品、取り組み、技術・研究等、木に関するあらゆるモノ・コトにわたり、木を使って暮らしの質を高めている提案を対象とする「ライフスタイルデザイン部門」、木を使って人の心を豊かに、身体を健やかにしている提案を対象とする「ハートフルデザイン部門」、木を使って地域や社会を活性化している提案を対象とする「ソーシャルデザイン部門」の3部門で表彰されます。

このたび、ソーシャルデザイン部門において受賞した「赤羽の集合住宅」は、ミサワホームグループが研究開発に取り組んでいる超高耐力の木質接着複合パネルを活用した独自構法「FWS」を採用し、2015年12月に竣工した4階建ての木造集合住宅です。防火地域である建築地の条件に対応するため、1時間耐火の国土交通大臣認定を取得しています。また、木質接着複合パネルの芯材に北海道産のトドマツ材を多く使用していたり、住宅メーカーであるミサワホームが外部の設計者・施工者と共同で中層木造住宅の建築に取り組むという、設計施工のオープン化を目指したりしている点も特長です。

ミサワホームは、今後も「FWS」をはじめ多様なニーズに対応する技術やサービスの開発を進めると同時に、事業活動を通じた木材利用の可能性について検討を進めていく考えです。

\*（株）内海彩建築設計事務所、岩瀬恵子、（株）MID 研究所、（株）スリーエフとの共同受賞

## ■受賞作品「赤羽の集合住宅」

超高耐力の木質接着複合パネルを使用した壁式構造の「FWS」による木造集合住宅です。防火地域で建築するために必要な1時間耐火の国土交通大臣認定も取得しており、木質接着複合パネルによる初の4階建の耐火建築物となります。また、当社の木質系工業化住宅に比べ壁量を約半分にできるため大空間や大開口の確保が可能で、将来的なインフィルの更新も容易です。木の風合いを感じられるよう、フローリングや壁柱はトドマツによる無垢材仕上げとしたことで入居者から高い評価を得ているほか、1階には子ども向け書籍を扱う書店「子どもの本 青猫書房」が入り、地域に開かれた積極的な活動を行っています。

### 物件概要

【建設地】東京都北区赤羽2丁目

【建物名称】Timber House（ティンバーハウス）

【敷地面積】282.26㎡

【建築面積】190.24㎡

【延床面積】599.71㎡（約182坪）

【階数】地上4階建

【設計・監理】統括及び意匠設計：株式会社KUS 一級建築士事務所

（現 株式会社 内海彩建築設計事務所）

構造設計：株式会社MID 研究所

構造設計協力：株式会社ミサワホーム総合研究所

【施工】株式会社スリーエフ

テクノエフアンドシー株式会社（躯体工事）



建物外観



無垢材を使用したインテリア



以上

\*この件に関する問い合わせ先\*

ミサワホーム(株)経営企画部コーポレートコミュニケーション課

中田義規 宮田智

TEL 03-3349-8088 / FAX 03-5381-7838

E-mail : Satoshi\_Miyata@home.misawa.co.jp